

平成 21 年 2 月 23 日

各 位

会社名 マルマン株式会社
代表社名 代表取締役社長 佐伯 秀彰
(コード番号: 7834 大証ヘラクレス)
問合せ先 取締役経営企画室長 上田 晃弘
(TEL: 03-3272-9402)

親会社等の民事再生手続開始の申立てに関するお知らせ

当社の親会社等である株式会社 S F C G (東証 1 部上場、コード番号 8597) は、平成 21 年 2 月 23 日の取締役会において、民事再生手続開始の申立てを行うことを決議し、東京地方裁判所に民事再生手続開始の申立てを行い、受理され、直ちに同裁判所から弁済禁止等の保全命令及び監督命令が発せられましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、本件に関する当社の見通しについては 3 ページをご覧ください。

a. 当該親会社等の名称等

(名称) 株式会社 S F C G
(本店所在地) 東京都日本橋室町三丁目 2 番 15 号
(代表者名) 代表取締役 小笠原 充

b. 申立てをするに至った経緯及び理由

株式会社 S F C G は、従前より保証付き貸付 (商工ローン) を中心として業務を行って参りましたが、過払金返還請求の増加に伴う多額の資金の流出及び引当金の計上、平成 18 年の貸金業法改正等により、商工ローン業務を取り巻く環境が悪化したことから、収益構造の転換を図るべく、近時においては、よりクレジット・コストの低減化が見込める物的担保貸付中心の貸付残高構成を指向し、不動産担保貸付の拡大を図っておりました。

また、株式会社 S F C G は、従前より米国系の金融機関及び証券会社を中心に資金調達を行っておりましたが、平成 19 年 8 月以降、米国ではサブプライム・ローン問題を発端として金融危機が深刻化してきたため、その影響を回避すべく、①欧州系及び国内金融機関からの調達、②エクイティによる調達、及び③資産処分による調達等、あらゆる対策を講じ、株式会社 S F C G の資金調達構造の改革に取り組んで参りました。

しかしながら、サブプライム・ローン問題を端緒とした金融市場・不動産市況の悪化は急速に進み、その影響が米国のみならず諸外国にも波及した結果、日本においても平成 20 年には上場不動産会社の倒産が相次ぐこととなりました。そして、平成 20 年 9 月の米国のリーマン・ブラザーズの倒産等を契機に金融危機は一気に加速しております。

このような未曾有の不景気の中で、株式会社 S F C G につきましては、米国の金融市場・不動産市況によって多額の損失を被った米国系金融機関だけでなく、サブプライム・ローン問題の影響を間接的に受けた欧州系金融機関、不動産価格及び株価の下落により損失が拡大した国内金融機関も含め、国内外を問わず金融機関からの資金調達が著しく困難となるという状況になりました。

また、株式会社 S F C G が近時の中核業務としておりました不動産担保貸付につきましても、

不動産市況の悪化によって新規貸付の激減、既存貸付の返済不能といった事態が生じ、株式会社SFCGを取り巻く経営環境は極めて厳しいものとなっております。

このように、新規の資金調達が著しく困難となる中、既存債務の返済に充てる資金が逼迫し、株式会社SFCGは、自らの貸付債権の回収に注力することにより資金繰りをつける途を模索致しましたが、昨今の著しい経済情勢の悪化の中、平成21年2月の決済資金の調達が困難となるに至りました。

このような経緯のもとで、株式会社SFCGと致しましては、自助努力による再建はもはや限界であり、これ以上現状を放置すれば、事業の継続に著しい支障を来すおそれがあるため、一刻も早く株式会社SFCGの経営を立て直すことが必要であるとの考えに至り、民事再生手続の下で早期に事業の再建を図るべく、本申立てに及んだ次第であります。

c. 負債総額（平成20年10月31日現在）

3,380億4,000万円

d. 当該親会社等の概要

- (1) 商号 株式会社SFCG
- (2) 本店所在地 〒103-8305 東京都中央区日本橋室町三丁目2番15号
- (3) 設立年月日 昭和53年12月20日
- (4) 代表者 代表取締役社長 小笠原 充
- (5) 主な事業所 本社
- (6) 主な事業内容 商業手形の割引業務、資金の貸付業務等
- (7) 資本金 791億4,915万円（平成21年1月27日現在）
- (8) 株式の状況 発行可能株式総数：2,498万9,730株
発行済株式総数：1,224万5,470株
- (9) 株主の状況（平成20年7月31日現在）
株主総数：5,713名
- (10) 役員の状況（申立日現在）

役名	職名	氏名
代表取締役	社長	小笠原 充
取締役	会長	大島 健伸
取締役	副会長	菊池 渡
取締役		後藤 信義
取締役		竹下 俊弘
取締役		山村 友幸
取締役		長屋 光輝
取締役		大西 一史
常勤監査役		柴崎 薫
監査役		谷 覬 龍二
監査役		堀之内 建二
監査役		野呂 忠幸

(11) 従業員の状況（申立日現在）

92名（うち契約社員及びパート社員17名）

(12) 最近の業績推移

(単位：百万円)

	第 29 期 (平成 18 年 7 月)	第 30 期 (平成 19 年 7 月)	第 31 期 (平成 20 年 7 月)
営業収益	69,110	70,910	83,989
経常利益	22,209	27,580	6,935
当期純利益	11,535	14,607	336

e. 当社との関係

- (1) 資本関係 議決権被所有割合 67.1% (平成 21 年 2 月 23 日現在)
※上記は全て間接所有割合であります
- (2) 人的関係 受入出向社員 0 名 (平成 21 年 2 月 23 日現在)
- (3) 取引関係 取引関係はありません

f. 当社の今後の見通し

株式会社 S F C G は当社の親会社である株式会社 MAG ねっとの親会社であり、当社の発行済株式の 67.1% を間接的に所有しておりますが、当社における事業については、株式会社 S F C G に依存した事業形態ではなく、株式会社 S F C G より独立した経営を行っております。

資金面につきましても、株式会社 S F C G からの資金調達はなく、当面の資金計画に支障はございません。

その他の内容については現在精査を行っておりますので、具体的な内容が判明次第、直ちにお知らせいたします。

なお、当社の親会社である株式会社 MAG ねっとは現在、平成 20 年 12 月 25 日より自己株式の公開買付けを開始いたしており、株式会社 S F C G とは、その保有する株式全てである 13,682,483 株について応募契約を締結しております。当該公開買付けにおける今般の親会社の民事再生手続開始申立てによる影響については現在精査中であり、株式会社 MAG ねっど株式の取扱い等、具体的な事象の発生があれば、随時お知らせいたします。

以 上